



2020年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年5月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社インテリジェント ウェイブ

コード番号 4847 URL <https://www.iwi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井関 司

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 垣東 充 TEL (03)6222-7015

四半期報告書提出予定日 2020年5月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第3四半期の業績 (2019年7月1日~2020年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第3四半期	7,805	1.5	585	△13.3	601	△12.7	398	△14.7
2019年6月期第3四半期	7,689	△1.8	675	84.2	688	84.5	466	95.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第3四半期	15.17	—
2019年6月期第3四半期	17.74	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第3四半期	9,703	6,475	66.7
2019年6月期	10,032	6,372	63.5

(参考) 自己資本 2020年6月期第3四半期 6,475百万円 2019年6月期 6,372百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	—	0.00	—	9.00	9.00
2020年6月期	—	0.00	—	—	—
2020年6月期(予想)	—	—	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2020年6月期の業績予想 (2019年7月1日~2020年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	10,600	1.5	1,000	8.5	1,040	9.1	720	5.3	27.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年6月期3Q	26,340,000株	2019年6月期	26,340,000株
② 期末自己株式数	2020年6月期3Q	39,807株	2019年6月期	31,907株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年6月期3Q	26,264,403株	2019年6月期3Q	26,313,293株

※四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当事業年度当初より、緩やかな拡大を続けてきた国内の経済情勢は、新型コロナウイルスの感染拡大等の影響により急激な変化に見舞われ、景気の現状は弱い動きになっています。

将来の経済情勢については、感染拡大が収束し抑制された需要が回復すれば、緩やかな拡大基調に回帰することも予想されています。

2020年4月1日付け、経済産業省の公表によれば、2019年10月に開始されたキャッシュレス・ポイント還元事業に登録した店舗数は108万店を数えています。クレジットカードによる対象決済額は、2019年10月1日から12月2日までに1.4兆円、2020年1月27日までに3.1兆円に増加しています。

また、主要クレジットカード会社の月次利用動向は、2020年2月実績まで対前期で増加を継続しています。3月以降は、店頭でのクレジットカードショッピングの取扱高は減少するものと思われませんが、一方で、ネットショッピングによるカード利用は増加しているとの見方があり、消費活動に占めるクレジットカード決済の普及拡大は、今後も継続するものと思われま

す。外部環境は急激に変化していますが、当第3四半期累計期間の当社の事業は堅調に推移しており、第4四半期会計期間(2020年4月～6月)においても、足元の計画どおりの進行が見込まれるため、通期の業績予想に変更はありません。

カード決済に不可欠な機能を提供するシステムの開発や運用を担う当社は、社会的な使命を正しく認識し、業務を継続するために必要な設備や体制を整備しつつ業務を推進しています。

当社の従業員の移動が著しく制限される等の事態が発生したとしても、組織的な対応と実現可能な手段によって稼働中のシステムの運用を保守する方針です。

当第3四半期累計期間においては、売上高は7,805百万円(前年同四半期比1.5%増)、営業利益585百万円(前年同四半期比13.3%減)、経常利益601百万円(前年同四半期比12.7%減)、四半期純利益398百万円(前年同四半期比14.7%減)を計上しました。

金融システムソリューション事業は、計画どおり売上高を計上することができました。当第3四半期累計期間において、当初の予定より損益の低い開発案件の売上もありましたが、概ね堅調に推移してきました。

プロダクトソリューション事業は、売上高は前年同四半期実績を上回りましたが、自社製品の販売実績が前期を下回ったため、営業利益は前年同四半期実績を下回りました。

当社は、売上高のほぼ全てを国内の事業会社、金融機関向けに計上しています。また、海外の開発拠点から業務の支援を受けることもありません。当社は、2020年3月より海外との往來を停止し、不急の国内出張も見合わせており、開発部門を含む従業員の一部は在宅で業務に従事しています。

現在のところ、業務の遅延による開発案件の採算悪化や大規模な費用の発生等、業績に悪影響が及ぶ事態は生じていません。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、顧客との面談の機会が減少する等の事象は発生していますが、足元の商談や進行中の開発案件に悪影響はなく、第4四半期会計期間の業績見通しと通期の業績予想に変更はありません。

しかし、一部の開発案件の計画が遅れたり、ハードウェア等商品の納入予定が遅れたりすることで、当第4四半期会計期間に計上を予定している案件の一部について、売上計上時期が来期(2021年6月期)へずれの可能性があり、その結果、当事業年度(2020年6月期)の業績予想が未達に終わる可能性があります。

(金融システムソリューション事業)

金融システムソリューション事業においては、主にクレジットカード会社の顧客に対して、ソフトウェア開発や保守、パッケージソフトウェア及びハードウェアの販売による売上を計上しました。当第3四半期累計期間(2019年7月～2020年3月)の売上高は7,144百万円(前年同四半期比1.1%増)、営業利益は732百万円(前年同四半期比2.1%減)となりました。

ソフトウェア開発業務売上高が伸びた結果、自社製パッケージソフトウェアの減収を補って、前年同四半期比で増収になりました。

当第3四半期会計期間(2020年1月～3月)の売上高は、2,617百万円(前年同期比6.7%増)と前年実績を上回りました。営業利益は238百万円(前年同期比44.6%減)と、前年実績431百万円を下回りました。

当第3四半期会計期間のソフトウェア開発売上高は、1,808百万円、自社製パッケージソフトウェアの売上高は23百万円でした。前年同四半期(2019年1月～3月)のソフトウェア開発売上高は、1,354百万円、自社製パッケージソフトウェアの売上高は、337百万円でした。

自社製パッケージソフトウェアの減収は、特別な事情によるものではありません。前年同四半期に、システム開発案件の進捗状況によって、複数のパッケージソフトウェアの売上実現の時期が重なったものです。当社の主要な自社製パッケージソフトウェア NET+1(ネットプラスワン)は、当社が開発するFEP(Front End Processing)システムの核を構成する製品であり、当社が受託するFEPシステムの新規構築や置換えの開発案件について利用されています。前年同四半期においては、複数の顧客向けのFEPシステム開発案件のパッケージソフトウェアの販売時期が重なりましたが、通常各開発案件の進捗状況によって、この売上計上時期は変わります。

営業利益については、当第3四半期会計期間(2020年1月～3月)に売上を計上したソフトウェア開発案件のうち、当初予定していた利益を下回った案件があり、当第3四半期累計期間(2019年7月～2020年3月)の営業利益は、732百万円と、前期を僅かに下回りました。

(プロダクトソリューション事業)

プロダクトソリューション事業においては、企業組織内部からの情報漏えいを防ぐ当社製パッケージソフトウェアCWAT(シーワット)と、外部からのサイバー攻撃を防ぐ他社製パッケージソフトウェアTraps(トラップス)の販売等によって、売上高は661百万円(前年同四半期比6.5%増)、営業損失は146百万円(前年同四半期は72百万円の営業損失)となりました。

他社製品の販売は前年同四半期実績を上回りましたが、相対的に利益率の高い当社製品の販売は前年同四半期実績を下回りました。この結果、セグメントの売上高は前年同四半期実績を上回りましたが、営業利益は前年同四半期実績を下回りました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産の残高は、前事業年度末に比べ328百万円減少し、9,703百万円となりました。うち流動資産は、前事業年度末に比べ400百万円減少し、5,654百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が226百万円増加しましたが、現金及び預金468百万円の減少、並びにたな卸資産151百万円の減少があったためです。固定資産は、前事業年度末に比べ71百万円増加し、4,049百万円となりました。これは主に、投資有価証券84百万円の減少がありましたが、その他無形固定資産(ソフトウェア仮勘定)172百万円の増加があったためです。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債の残高は、前事業年度末に比べ431百万円減少し、3,228百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金92百万円の増加並びに賞与引当金137百万円の増加がありましたが、未払法人税等359百万円の減少があったためです。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末に比べ102百万円増加し、6,475百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が59百万円減少しましたが、利益剰余金161百万円の増加があったためです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年8月7日付「2019年6月期 決算短信」で公表した業績予想に変更ありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,254,913	2,786,134
受取手形及び売掛金	1,455,554	1,681,811
たな卸資産	640,892	489,381
その他	702,914	696,894
流動資産合計	6,054,274	5,654,221
固定資産		
有形固定資産	540,988	529,200
無形固定資産		
ソフトウェア	1,188,857	1,130,789
その他	152,363	324,732
無形固定資産合計	1,341,221	1,455,522
投資その他の資産		
投資有価証券	1,234,859	1,150,532
その他	860,899	914,080
投資その他の資産合計	2,095,759	2,064,613
固定資産合計	3,977,969	4,049,336
資産合計	10,032,243	9,703,558
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	332,221	425,053
未払法人税等	359,462	—
前受金	1,428,303	1,405,971
賞与引当金	278,538	416,125
役員賞与引当金	40,175	25,321
その他	619,730	345,117
流動負債合計	3,058,430	2,617,589
固定負債		
退職給付引当金	451,172	480,628
役員退職慰労引当金	23,885	28,497
資産除去債務	86,947	87,404
その他	39,292	14,227
固定負債合計	601,297	610,757
負債合計	3,659,728	3,228,347

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2020年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	843,750	843,750
資本剰余金	561,186	573,099
利益剰余金	4,518,091	4,679,737
自己株式	△14,955	△26,687
株主資本合計	5,908,072	6,069,899
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	464,442	405,311
評価・換算差額等合計	464,442	405,311
純資産合計	6,372,515	6,475,210
負債純資産合計	10,032,243	9,703,558

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2018年7月1日 至2019年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自2019年7月1日 至2020年3月31日)
売上高	7,689,283	7,805,470
売上原価	5,607,228	5,782,816
売上総利益	2,082,055	2,022,654
販売費及び一般管理費	1,406,528	1,436,913
営業利益	675,527	585,740
営業外収益		
受取利息	342	487
受取配当金	5,663	20,735
受取保険金	4,000	28,028
助成金収入	3,874	—
その他	2,333	3,196
営業外収益合計	16,214	52,448
営業外費用		
支払利息	128	76
コミットメントフィー	2,903	3,048
支払補償費	—	33,679
その他	359	373
営業外費用合計	3,391	37,178
経常利益	688,350	601,010
特別利益	—	—
特別損失	—	—
税引前四半期純利益	688,350	601,010
法人税、住民税及び事業税	414,943	191,563
法人税等調整額	△193,446	11,027
法人税等合計	221,496	202,591
四半期純利益	466,854	398,418

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期累計期間(自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当第3四半期累計期間(自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期累計期間(自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	金融システム ソリューション事業	プロダクト ソリューション事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	7,068,312	620,971	7,689,283	7,689,283
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	7,068,312	620,971	7,689,283	7,689,283
セグメント利益又は損失(△)	748,467	△72,940	675,527	675,527

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

セグメント利益又は損失の金額の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しているため、差異調整は行っていません。

Ⅱ 当第3四半期累計期間（自 2019年7月1日 至 2020年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	金融システム ソリューション事業	プロダクト ソリューション事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	7,144,030	661,439	7,805,470	7,805,470
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	7,144,030	661,439	7,805,470	7,805,470
セグメント利益又は損失(△)	732,665	△146,924	585,740	585,740

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

セグメント利益又は損失の金額の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しているため、差異調整は行っていません。